

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

栃木県宇都宮市 中央駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	29	

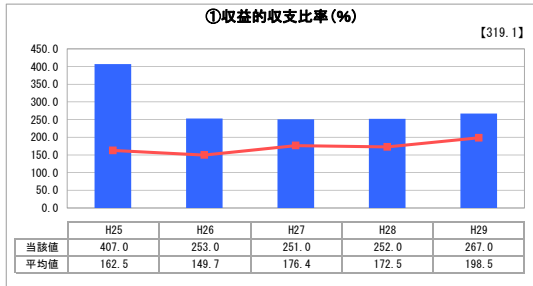
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	2,862
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
81	300	利用料金制

**グラフ凡例**

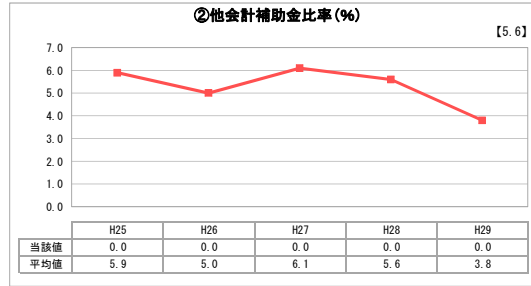
- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）

【】 平成29年度全国平均

## 1. 収益等の状況

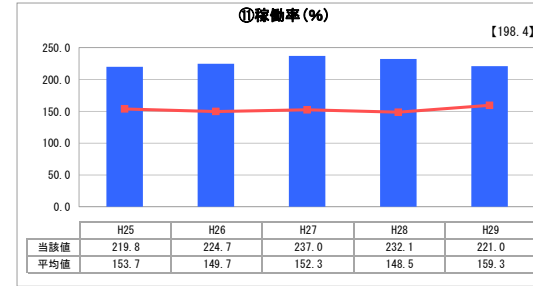


「経常損益」

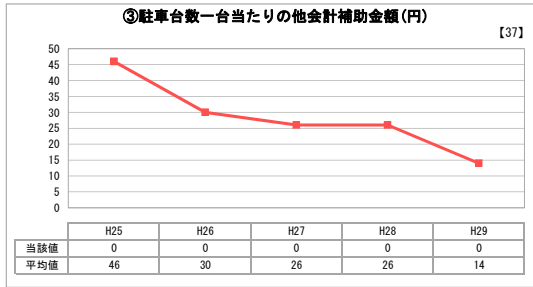


「他会計補助金割合」

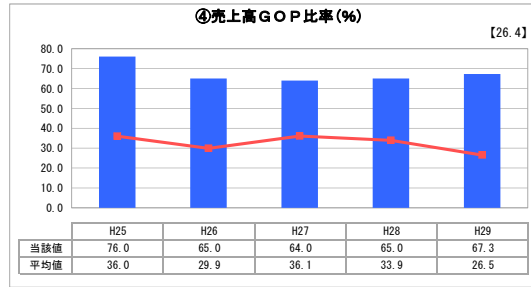
## 3. 利用の状況



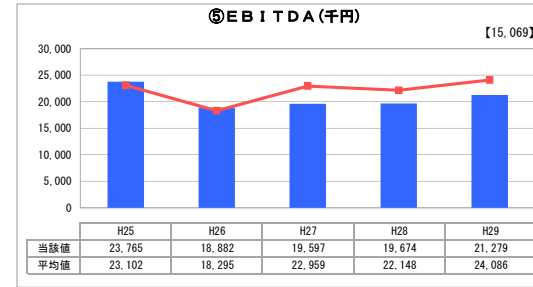
「施設の効率性」



「他会計補助金額」



「売上高に対する営業総利益」



「減価償却前営業利益」

## 2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

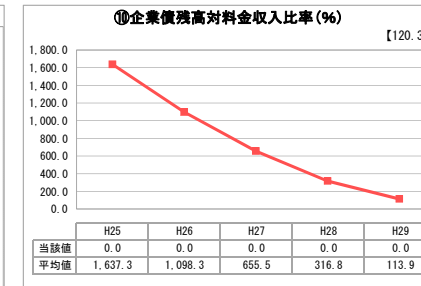
81,075

⑧設備投資見込額(千円)

3,666



「累積欠損」



「債務残高」

## 分析欄

1. 収益等の状況について  
過去数年にわたって、他会計からの繰り入れがないことから、②他会計補助金比率及び③駐車台数一台当たりの他会計補助金額の値は、ゼロで推移している。  
①収益的収支比率は、昨年度から15%増え、収支は黒字を維持している。  
営業収益に対する粗利益を示す④売上高GOP比率は、昨年度と比較して横ばいであるが、本業の収益性を示す⑤EBITDAは、類似施設平均値よりは低いものの、昨年度より値が上昇し、当該施設の収益性が向上していることを示している。

2. 資産等の状況について  
設備投資見込額は、3,666千円であるが、一般的に施設の老朽化が進むと、建設改良費等が大きくなっていくことから、今後は、予防保全やアセットマネジメント等の取組に努めていく必要がある。  
企業債発行による借入資本金はゼロであり、⑩企業債残高対料金収入比率もゼロで推移している。

3. 利用の状況について  
医療機関、ホテルの定期利用者がいるほか、近くに生涯学習センター等の公共施設があり、一定の利用者がいることから、類似施設平均・全国平均と比べて、高い稼働率を維持している。

全体概括  
施設全体では、収支が黒字であるが、今後、ますます当該施設の老朽化が進行していくことを踏まえ、計画的な施設更新による費用の平準化を図り、施設の更なる効率的稼働の推進等による維持管理費の削減に取り組む必要がある。